

地方公共団体名： 三重県鳥羽市

○提案内容

<p>(1) 実現したい島のビジョン・方向性</p> <p>本市には、水産業、観光業などを主要産業とする4つの有人離島があり、全ての島に市立診療所を開設しています。これらの島々をフィールドとして、離島住民の家が「病室」、それぞれの離島が「病棟」、鳥羽の離島全体を「病院」(バーチャル鳥羽離島病院)と仮定し、そのバーチャル病院で医療介護チームTRIMet(Toba Rural area & Island Medical team)が連携をとりながら働くことをコンセプトとします。 離島において基幹病院の関わらないグループ診療とICTを組み合わせた事例はなく、複数の離島を複数の医師でカバーするグループ診療、クラウド型電子カルテをはじめICTの活用によるオンライン診療と多職種連携を組み合わせることによって今後の離島の医療者不足と人口減少に柔軟に対応できる医療提供システムを構築し、島民が人生の最後まで住み慣れた場所で安心して生活することができる鳥羽の離島独自の地域包括ケアシステムの実現を目指します。</p>	
<p>(2) 新技術の導入により解決したい離島の課題</p> <p>①本市の離島診療所における課題の一つとして、医師の確保が困難な状況となっています。そのため、医師が不足しても対応できる複数の医師で複数の診療所を診る体制づくり(グループ診療)を計画していることから、診療所を開設していない日や休日・夜間等における医師の不在時に対応するためのオンライン診療システムの導入、医師間の患者情報共有および患者情報へのアクセスを円滑に行うシステムを構築することにより、点で支える医療から面で支える医療への移行を目指しています。</p> <p>②本市においては、医師、看護師をはじめとした薬剤師、理学療法士、ソーシャルワーカーなどその患者に関わる医療従事者とのつながりはあるものの横のつながりはほとんどなく、医療と福祉介護従事者の連携ができていないため、離島における医療・介護サービスのニーズがリアルタイムで把握しにくい状態です。また、離島の介護サービスの現状は少数の利用者のために島外から渡航のうえサービスを提供しなければならず、効率化が図れないことから、参加が難しい状況となっています。</p> <p>③患者のカルテ情報の共有やWeb会議による多職種合同のカンファレンス等を行うことにより地域包括ケアシステムにおける医療、介護、予防、生活支援を一体的に提供していきたいが、離島と本土間など物理的な距離をクリアするため、ICTを活用したカンファレンスを目指しています。</p> <p>④離島四島の一つである答志島では、医療機関のない地区から車で約15分の距離にある島内の診療所まで患者を送迎するサービスを検討しています。予約および配車などのオペレーション業務を行う仕組みづくりが必要となりますが、業務の受け皿となる島民の人的負担が大きいため継続性のある運行が難しいことから、AIによるオペレーション業務の改善を必要としています。</p>	<p>課題の分類</p> <p>下記のうち、該当するものを○で囲んでください。</p> <p>交通・モビリティ エネルギー 物流 防災 観光 教育 健康・医療 環境 産業 担い手確保・人材育成 その他</p>
<p>(3) 新技術の導入による課題解決の方向性 (イメージでも可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン診療にかかるシステム、クラウド型電子カルテおよびそれに付随するシステムを導入し、グループ診療および多職種間連携を円滑に行うことが可能となる。 ・AIによる送迎予約システムを導入し、島民の人的負担を軽減することにより継続性のある運行が可能となる。 	
<p>(4) その他</p>	

※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

○部局名・担当者・連絡先 (電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先 (電話)	連絡先 (メール)
健康福祉課	吉川 国博	0599-25-1185	kunihiro-y@city.toba.lg.jp